

平成30年度事業報告書

2018年7月1日から2019年6月30日まで

法人の名称 特定非営利活動法人サードプレイス

1 事業の成果

子どもたちの居場所づくりを進めていく中で、地域や学校との連携を深めることができた。地域に暮らす子どもたちへの意識が向き、子どもたちのために何ができるか、子どもたちと何ができるかを一緒に考える下地ができた。私たちNPOと地域や学校の「関係性が発展」し、地域まちづくりが進んでいった事例を作ることができた。その他、鶴見区内で活動する団体や個人のネットワークづくりも進み、より多くの子どもたちにアプローチできるようになった。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 子どもの発達における総合支援事業

ア 子ども居場所づくり事業

・相談・伴走支援

「こどもたちの居場所づくり ノウハウお伝えします！」

横浜市鶴見区内で子どもたちの居場所づくりなどの取り組みを実施したい団体、活動基盤強化をしたい団体への伴走支援事業。子供の未来応援基金未来応援ネットワーク支援金を受け実施。取り組みの内容は、こども食堂の開設支援、イベント実施の支援、常設型のこどもたちの居場所づくりの準備サポートとファンドレイジングを含む活動の基盤強化のフォローを伴走型で支援。

伴走支援団体：3団体（2018.7～2019.3）・1団体（2019.4～）

・子どもたちの居場所づくり実践

「地区センカフェ」

公共施設内で子どもたちの居場所づくりの取り組みを実施。

2018.7～2019.3：寄付金を中心とした自主財源

2019.4～2019.6：鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金を財源

日 時：毎週火曜日 15：00～17：00（18：00）

場 所：横浜市寺尾地区センター

開催回数：46回

参加者数：延べ1,502人（内こども1,309人・大人193人）

「放課後学習会」

中学校校長から依頼を受け、公立中学校の校舎の中（図書室等）で放課後学習支援を開催。生徒一人ひとりに寄り添った個別対応により、学習の困りごとのみならず生活面での相談にも対応。学校からの委託費および寄付金を中心とした自主財源により実施。

日 時：学校と調整した日程で実施 16：00～17：30（15：00～17：30）

実施回数：27回

参加者数：延べ103人（登録：9名）

学習ボランティア：延べ123人

学習支援コーディネーター：1名配置



イ 講演・啓発事業

- ・子どもの生活と声を知る一鶴見からはじめようー
公益財団法人あすのぼの小河代表をお招きし、講演会を実施。全国 1500 人以上のアンケートをまとめた「子どもの生活と声 1500 人アンケート最終報告」の解説や、子どもの貧困対策の取り組みを学び、鶴見区に今必要なことを参加者と一緒に考えた。
日 時：平成 30 年 9 月 24 日（月・祝）13：00～16：30
場 所：ココファン横浜鶴見
参加者数：59 名
- ・#当事者たちの声をきく～出会っちゃった 2019～
子どもの貧困の当事者である若者、そういった状況下にある子どもたちと関わる若者の「生の声」から学ぶ研修会を実施。実際に経験したからこそ話せるリアルな想いやメディアに取り上げられない子どもの貧困の実態について知る機会とした。
日 時：平成 31 年 2 月 18 日（月）18：00～20：00
場 所：横浜市鶴見区社会福祉協議会
参加者数：30 名
- ・トークフォークダンスで語ろう～大人としゃべり場～
中学生と地域の大人たちの出会いの機会創出を目的に、子どもと大人が輪を作って向かい合い、様々なお題に対し、1対1で1分間、自分の考えを話す。次に1分間、相手の話を聴く。その後フォークダンスのように相手を替え、たくさんの人たちと対話をしていくトークフォークダンスを実施。
日 時：平成 31 年 2 月 22 日（金）9：00～12：00
場 所：横浜市立寺尾中学校
参加者数：寺尾中学校 3 年生および大人 123 名
- ・こどもたちの居場所シンポジウム
「こどもたちの居場所づくりは、まちづくり」をテーマに、サードプレイスのこれまでの取り組み、地域・学校・協力団体との連携事例を報告。
日 時：令和元年 5 月 24 日（金）18：00～20：00
場 所：横浜市鶴見区社会福祉協議会
参加者数：32 名
- ・社会貢献教育の推進
日本ファンドレイジング協会が中心に推進している社会貢献教育「寄付の教室[◎]」「社会に貢献するワークショップ[◎]」の実施および協力
実施回数：2 回
第 22 回全国スカウトフォーラム（主催：公益財団法人ボーイスカウト日本連盟）、
寄付の教室 in 神奈川（主催：神奈川県）
- ・講演会、研修会等への登壇およびフィールドワーク学習への協力
テーマ
子どもたちの居場所づくり、子どもの貧困対策の支援の現場から、多文化共生のまちづくり、鶴見区内での活動事例紹介、ファンドレイジング実践など

講演・協力先

神奈川県、関東学院大学、法政大学大学院、相模女子大学、公益財団法人あすのば、社会福祉法人座間市社会福祉協議会 他

・視察、調査

子どもの居場所づくり、学習支援等 現地視察

北海道札幌市 スタッフ2名

子どもたち主体の活動づくり 現場視察、調査

岡山県岡山市、兵庫県明石市 スタッフ1名

学習塾スタイルでの学習支援およびひとり親支援 現地視察

大阪府高槻市 スタッフ1名

ウ 子どもの体感・体験・学習イベント

・鶴見そーらんフェスティバル（協力）

鶴見銀座商店街で実施された鶴見そーらんフェスティバルに実行委員として協力。鶴見区内の小学校や幼稚園などが参加。

日時：平成30年11月3日（土）10：00～14：00

場所：鶴見銀座商店街

・つるみ子育て個育ちフォーラムへの参加

子どもたちが健やかに、心豊かに育つ地域づくりを進めていくことを目的に、鶴見区内で子育て支援や青少年育成に携わる団体や区民有志が一堂に会すイベント「つるみ子育て個育ちフォーラム」の運営委員、企画委員として協力。

エ 他機関連携事業

横浜市鶴見区内の子どもの支援事業や拠点施設運営などの調査を実施

具体的な申請やエントリーは実施せず

② 地域資源の調査・研究・開発事業

ア 鶴見区子ども資源調査・研究・開発

・つるみ子どもの未来応援ネットワークの提案

横浜市鶴見区社会福祉協議会が実施する「鶴見区こどもの居場所ネットワーク会議」から「つるみ子どもの未来応援ネットワーク」への移行を提案。鶴見区社会福祉協議会と共同事務局により鶴見区内の子どもの支援を行っている団体をネットワーク化し、子どもに関する課題解決のための仕組みづくりを始めた。

イ 鶴見の多文化・多世代の共創拠点づくり

横浜市鶴見区内の子どもたちや地域の大人たち、文化の理解や多世代の交流が実現する拠点の立ち上げのため、鶴見中央エリア在住、活動のメンバーで「つみれプロジェクト実行委員会」を組織。平成30年度ヨコハマ市民まち普請事業に「鶴見の多文化・多世代の共創拠点づくり」としてエントリーし、上位3団体に選ばれ上限500万円の拠点整備助成を受けられることが決まった。実行委員会の事務局として、サードプレイスが協力。